

津山市第10次行財政改革大綱(案)のパブリックコメントの実施結果

1 募集期間：平成27年10月30日から平成27年11月30日まで

2 意見提出者数：1人

3 意見数：10件

4 意見の概要と津山市の考え方

	対象項目	意見の概要	津山市の考え方
1	表紙	大綱案の表紙が五次総と同様なのは、いかがなものかと思えます。行財政改革は総合計画の一角であり、「キャッチコピー」が同じは、不自然です。例えば「七転八起がんばるんじゃ津山」とか。	津山市第5次総合計画との整合性を図り、実施していくことを表現しています。
2	1.はじめに (1)これまでの取り組み	1.はじめに(これまでの取り組み)には少なくとも第9次大綱の具体的方策(実行計画)に係る実績数値を掲載(語句説明にでも加えて)してほしいです。特に「成果」「効果的」「職員の意識改革」がどうだったのか等。でないと、第10次の大綱と比べようがありません。 また、第9次大綱の具体的方策と第10次の3.改革の柱と具体的な方策は表現が進化しただけで内容は同じような感じです。	第9次行財政改革の実績数値については、実施期間が平成27年度末までとなっていますので、期間終了後に実績を集計し、公表する予定です。 具体的方策について、第9次行財政改革と比較して、取組の柱は同じですが、市民との協働によるまちづくりに特に力を入れます。
3	3.改革の柱と具体的な方策 (2)財政の健全化	P7の補助金、分担金、負担金の見直しには、力関係(政治力に屈しない)「聖域なき見直し」の加筆を望みます。	全事業を対象にもれなく評価し、見直しに取り組めます。
4	3.改革の柱と具体的な方策 (3)行政経営改革の推進	P9のPDCAサイクル確立は過去との違いが解るように、また「事業仕分け」との関連も含めて実行計画には示してほしいです。	目標管理制度については、行政課題の情報共有や年度間の引継ぎが強化されるよう取り組みます。 事業仕分けについては、完了していない取組については、実行計画に掲載し、進捗を管理します。
5	3.改革の柱と具体的な方策 (3)行政経営改革の推進	大綱案の文中には随所(5ヵ所?)に「意識改革」が使われていますが、少々安易と感じます。 毎年毎回「意識改革」しろと言われ続けると「改革する意識」が失われかねません。	特に、市民と協働でまちづくりを進めていくためには、全職員が津山市を住みよいまちにしていくよう意識を醸成していくことを強調しています。
6	3.改革の柱と具体的な方策 (3)行政経営改革の推進	本日マイナンバーが届きました。大変な作業量で不在が多く今月中の配達是不可と泣いておられました。大綱案P9にも言及してありますが、「イドの怪物」ならない様、願います。	マイナンバー制度の導入に伴い、市民の利便性が向上するよう活用策を検討します。
7	3.改革の柱と具体的な方策 (3)行政経営改革の推進	P9 定員・給与の適正化で、「事務事業の見直しや事務の効率化」を停止条件に、定員適正化計画を策定とありますが、「適正」な根拠を示してほしいです。合併後は約200人？職員が減少し、殆んどが窓口・現場職場ではないでしょうか？そのうち庁舎内は嘱託・臨時職員だらけになりこれ以上の職員削減は必ずしも市民サービス向上には繋がらないのでは？管理部門の職員が減らないのも適正なのですか。	定員適正化については、民間にできることは民間に委ねる等、市民サービスの提供に支障が無いよう事務事業の見直しや事務の効率化を図り、その成果を受けて実施します。
8	5.目標設定と進行管理	3.改革の柱と具体的な方策、特に「検証」とかは実行計画に於いては、具体的な数値と根拠を示してほしいです。	実行計画では、具体的方策における重点目標を数値設定して進捗管理していくとともに、年度毎に実績を公表します。
9	5.目標設定と進行管理	P10の5.(1)については実行計画では過去と対比した数値を示してほしいです。	実行計画の重点目標には、第9次行財政改革期間終了時点の実績数値を入れて、数値比較できるようにします。
10	パブコメ数の公表	本大綱案のパブコメ数を公表される用意はありますか？ある意味で、「市民の関心度」アウトプットになりませんか？	パブリックコメント終了後に件数、意見の概要、市の考え方を津山市ホームページにて公表します。